

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社エスティック

Electric-Servo-Tool-Intelligent-Corporation

ESTIC

JPX STANDARD 証券コード 6161
<https://www.estic.co.jp>



日本

- ・世界的なEV需要の鈍化の中、グローバルな投資計画見直しによる設備投資減
- ・米国関税の影響により自動車大手各社が通期見通しを下方修正するなど大幅な減益



北米

- ・関税政策の影響により内需の成長ペースは鈍化
- ・通商・環境政策の転換を受け投資計画の見直し等慎重な設備投資



中国

- ・政府による景気刺激策により最終消費が押し上げられ、底堅い経済成長を維持
- ・自動車産業では、生産・販売台数ともに前年同月比でそれぞれ10%以上増加

売上高

35億円

前期比：減収 $\triangle 7.3\%$

地域別売上高は、中国市場で前年同期を大幅に上回り、その他アジア地域（インド・台湾・韓国）、でも伸長した一方、日本、北米、EU市場は米国関税政策による設備投資計画の見直しやEV需要の鈍化も重なり、販売は総じて低迷しました。

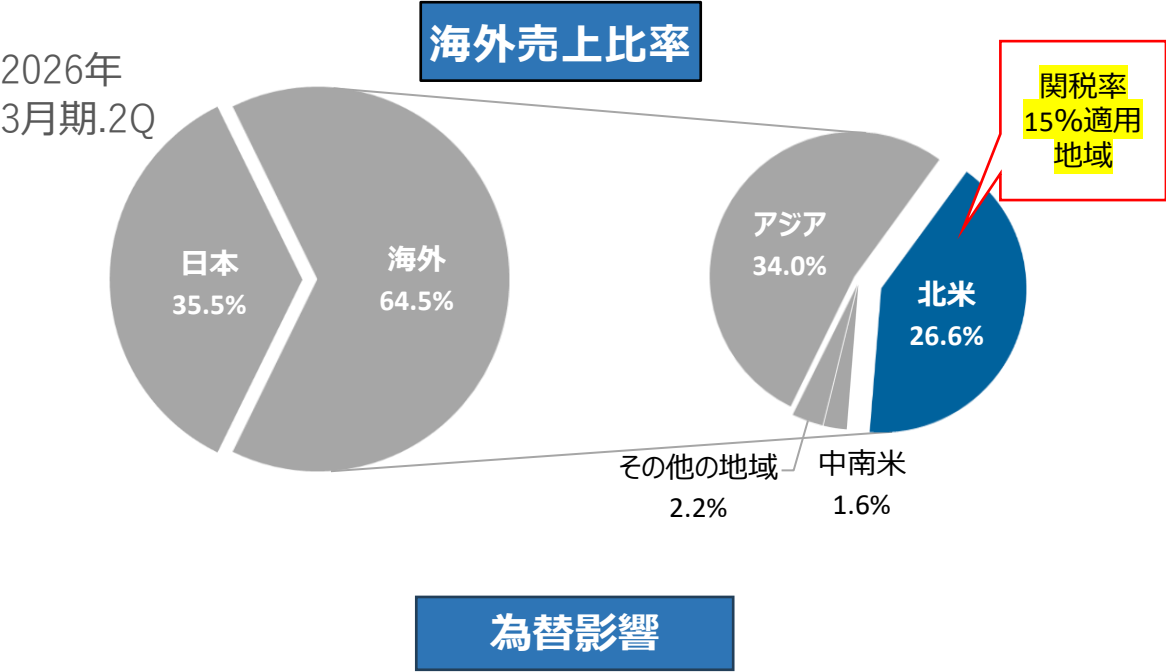
製品別売上高は、全セグメントで減収となりました。
特にネジ締付装置は米国関税政策の影響により、設備投資計画を延期・中止・縮小する動きが顕在化し、前年を大きく下回った結果、全体の減収に大きく影響しました。

営業利益

5.8億円

前期比：減益 $\triangle 7.1\%$

原材料価格や人件費の高騰による原価率の上昇、さらに販売費及び一般管理費の増加が利益を圧迫しました。加えて、売上高が計画を下回ったことも重なり、利益も前年同期を下回る結果となりました。



米国関税引き上げの業績影響への対策

1. 価格転嫁によるコストアップ吸収
米国では一部製品への価格転嫁を実施し、関税影響による仕入コストのアップ分については概ね吸収。
（利益面においては今期業績への影響は軽微）

2. 市場の多様化
米国市場への依存度を下げるため、特にインドやインドネシア、韓国等のアジア地域を中心に重点的に拡販体制を強化しつつ、業界の拡大によるリスク分散も合わせて実施。

3. 生産性向上によりコスト増抑制
業務改善による生産性向上により固定費等のコスト増の抑制を図る。

| 通貨 | 2025年3月期 Ave.RATE | 2025年3月期.2Q Ave.RATE | 2026年3月期予算 想定RATE | 2026年3月期.2Q 予算比業績影響 | 為替感応度 対通期予算 |
|------|----------------------|-------------------------|----------------------|------------------------|----------------|
| | (円) | (円) | (円) | (百万円) | (百万円) |
| US\$ | 151.57 | 148.61 | 147.00 | +9 | 14 (1円あたり) |

| 単位：百万円／％ | 2025年3月期 第2四半期 | | 2026年3月期 第2四半期 | | 前期比 | |
|-----------------|-------------------|--------|-------------------|--------|------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 3,778 | 100.0％ | 3,504 | 100.0％ | ▲274 | ▲7.3％ |
| 売上原価 | 2,156 | 57.1％ | 1,912 | 54.6％ | ▲243 | ▲11.3％ |
| 売上総利益 | 1,621 | 42.9％ | 1,591 | 45.4％ | ▲30 | ▲1.8％ |
| 販売管理費 | 998 | 26.4％ | 1,011 | 28.9％ | 13 | 1.3％ |
| 営業利益 | 623 | 16.5％ | 579 | 16.5％ | ▲44 | ▲7.1％ |
| 経常利益 | 655 | 17.3％ | 596 | 17.0％ | ▲59 | ▲9.0％ |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 439 | 11.6％ | 400 | 11.4％ | ▲39 | ▲8.9％ |
| 一株当たり当期純利益（円） | 44.17 | | 40.20 | | | |

・売上高
地域別品種別の詳細は後のページで詳細説明いたします。

・売上原価
原材料価格の高騰、賃上げによる労務費の増加により、各セグメントの原価は上昇傾向にありますが製品セグメントのミックス効果により原価率は抑えられました。

・販売管理費
賃上げ等により人件費が上昇傾向にありますが、経費関係の上昇は抑制施策により軽微。

参考データ

| | | |
|----------------|--------------------------------|--------------------------------|
| PBR | 0.85倍 | 0.97倍 |
| 為替レート（対米国ドル/円） | 2025年3月期2Q 142.67円 (9.20時点) | 2026年3月期2Q 148.05円 (9.20時点) |

連結財政状態 (BS)

| 単位：百万円 | 2025年3月20日 | 2025年9月20日 | 増減 | | |
|-----------|------------|------------|------|-------------------|----------------------|
| 流動資産合計 | 8,421 | 7,651 | ▲770 | 現預金 売掛債権 在庫 | ▲764 ▲328 +283 |
| 有形固定資産合計 | 2,598 | 3,202 | +604 | 建設仮勘定 | +646 |
| 無形固定資産合計 | 26 | 30 | +3 | | |
| その他投資資産合計 | 1,010 | 956 | ▲54 | 敷金 保険積立金 | +32 ▲50 |
| 総資産合計 | 12,056 | 11,839 | ▲216 | | |
| 流動負債合計 | 1,160 | 997 | ▲163 | 未払金 未払法人税 | ▲64 ▲105 |
| 長期負債合計 | 325 | 294 | ▲30 | 長期未払金 | ▲41 |
| 負債合計 | 1,485 | 1,292 | ▲193 | | |
| 株主資本合計 | 9,913 | 10,043 | +129 | 利益剰余金 | +121 |
| 純資産合計 | 10,570 | 10,547 | ▲23 | | |
| 負債・純資産合計 | 12,056 | 11,839 | ▲216 | | |

・ 現預金/建設仮勘定

標準品組立工場の新設移転計画で、設計が完了し8月より建設スタート、2026年11月完成予定となっております。その関連費用として建設仮勘定の増加及び現預金が減少しております。

・ 売掛債権

売上減少に伴う売掛債権の減少。

・ 在庫

下半期に納入を予定している設備案件の仕掛品増加及び販売増加を見込んだ標準品の在庫積み増しによる増加です。

地域別品種別売上 | 前年同期比

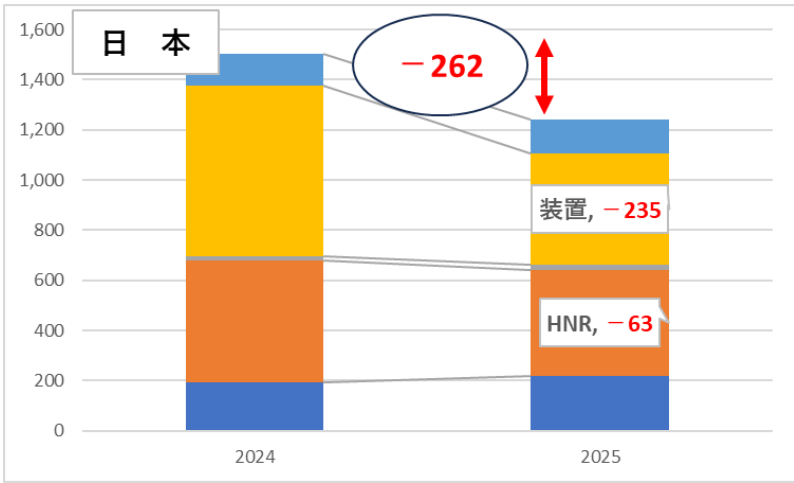
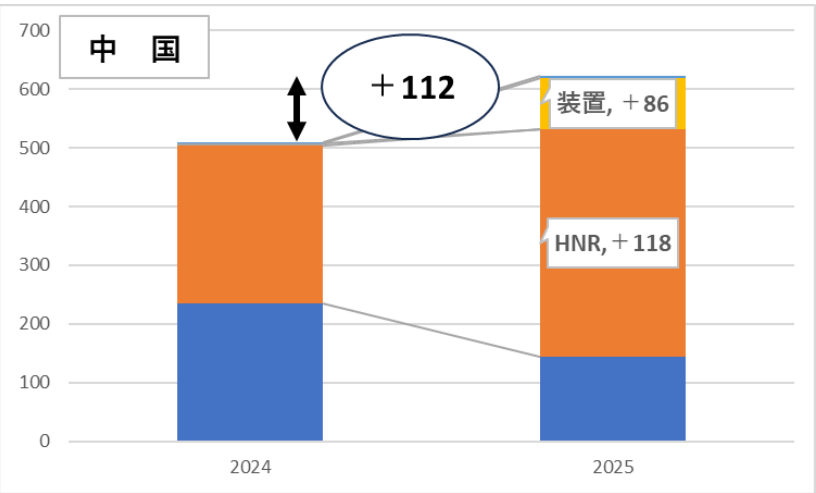
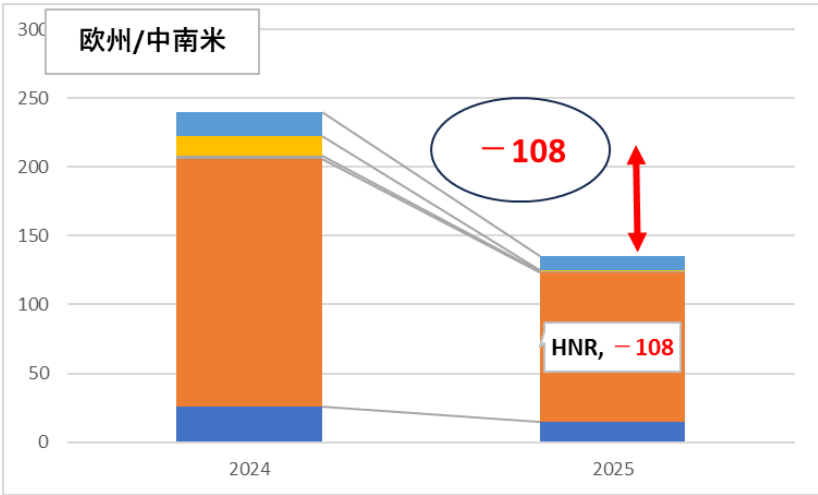
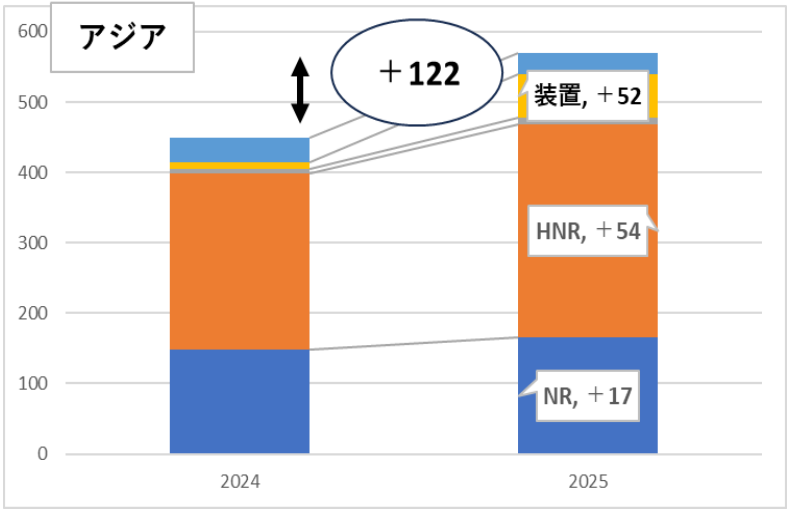
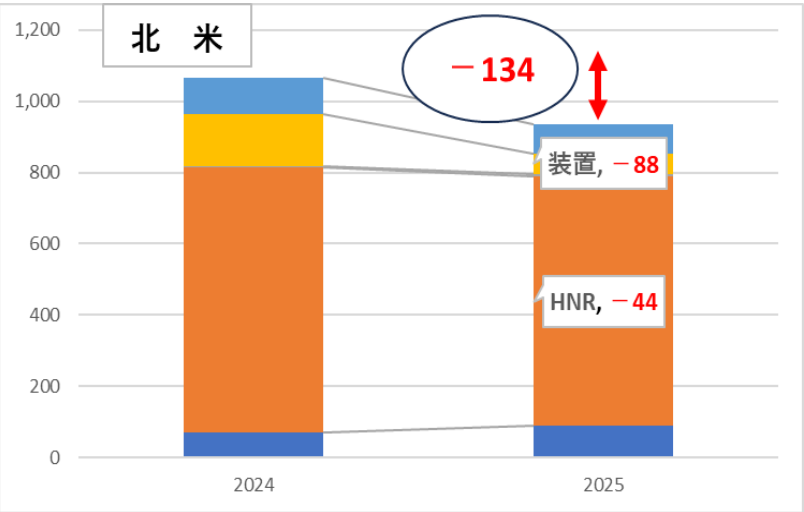


| 単位：百万円 | | 2026年3月期 第2四半期 | | | | | 前年同期比増減 | | | | | |
|---------------|--------|-------------------|------------|-------------|----------|-------|---------|---------------|------------|-------------|----------|------|
| 品種 地域 | ナットランナ | ハルト ナットランナ | サ-ボ プレス | ネジ 締付 装置 | 修理 点検 | 計 | ナットランナ | ハルト ナットランナ | サ-ボ プレス | ネジ 締付 装置 | 修理 点検 | 計 |
| 日本 | 219 | 422 | 19 | 442 | 138 | 1,242 | +27 | ▲63 | ▲0 | ▲235 | +9 | ▲262 |
| 北米 | 89 | 697 | 7 | 57 | 80 | 932 | +17 | ▲44 | +2 | ▲88 | ▲21 | ▲134 |
| 中国 | 144 | 388 | 0 | 85 | 3 | 622 | ▲89 | +117 | ▲3 | +85 | +1 | +111 |
| アジア (中国除く) | 165 | 304 | 8 | 62 | 30 | 570 | +16 | +54 | +1 | +52 | ▲3 | +121 |
| 中南米 | 7 | 43 | 1 | 0 | 3 | 57 | ▲6 | ▲50 | ▲1 | ▲13 | ▲8 | ▲80 |
| その他の地域 | 8 | 64 | 0 | 0 | 6 | 78 | ▲5 | ▲22 | 0 | +0 | ▲0 | ▲28 |
| 合計 | 634 | 1,921 | 36 | 649 | 262 | 3,504 | ▲39 | ▲9 | ▲1 | ▲200 | ▲23 | ▲274 |

- ・ **日本市場**
米国関税動向様子見で設備投資は全体的に当期もスロースタート、HNR、装置が軟調
- ・ **北米市場**
米国も関税問題やEV需要の鈍化から設備投資は鈍化、HNRも伸び悩む
- ・ **中国市場**
現地系自動車メーカー、部品メーカーの開拓進む、HNR、設備で大幅なプラス
- ・ **アジア**
好調なインドを中心に主要セグメントで伸長
- ・ **欧州/中南米**
関税問題、EV需要の鈍化による投資計画縮小

地域別品種別売上高（主要地域） | 前年同期比 2Q比較

単位：百万円



《 前年比プラス 》

中国、アジア

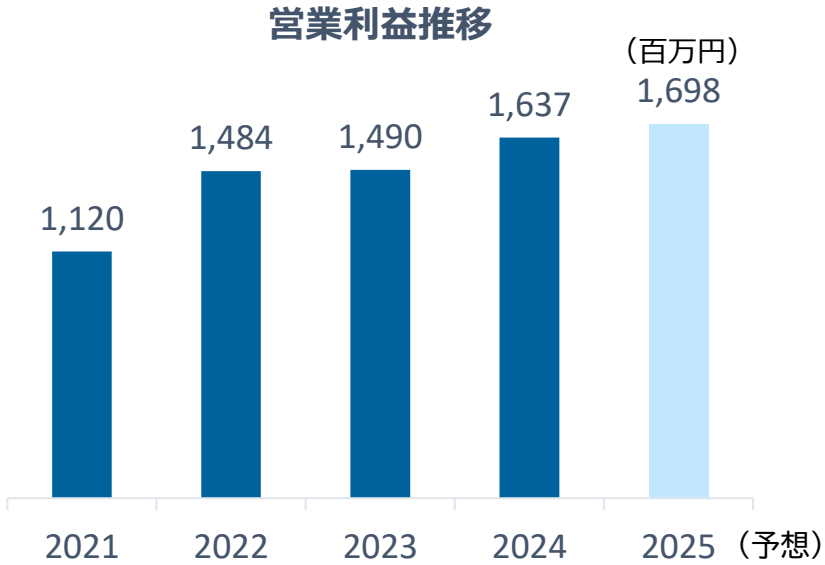
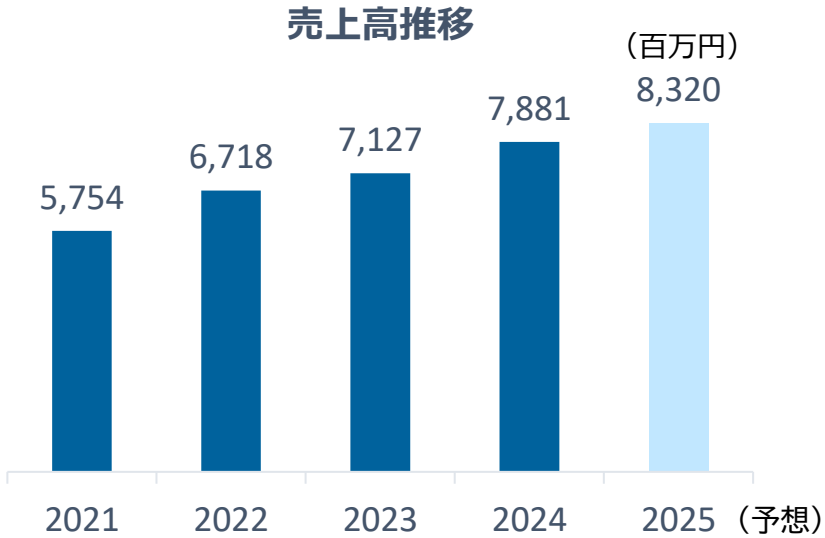
《 前年比マイナス 》

北米、日本、欧州/中南米

連結業績予想（通期PL予想）



| 単位：百万円 | 2025年3月期 | | 2026年3月期(予想) | | 増減 | 増減率 |
|-----------|----------|-------|--------------|-------|------|-------|
| 売上高 | 7,881 | 100% | 8,320 | 100% | +439 | +5.6% |
| 売上原価 | 4,217 | 53.5% | 4,464 | 53.7% | +247 | +5.9% |
| 売上総利益 | 3,663 | 46.5% | 3,855 | 46.3% | +192 | +5.2% |
| 販売費・一般管理費 | 2,025 | 25.7% | 2,157 | 25.9% | +132 | +6.5% |
| 営業利益 | 1,637 | 20.8% | 1,698 | 20.4% | +61 | +3.7% |
| 経常利益 | 1,723 | 21.9% | 1,734 | 20.8% | +11 | +0.6% |
| 当期純利益 | 1,181 | 15.0% | 1,192 | 14.3% | +11 | +0.9% |



連結業績予想（品種別売上高予想）

| 単位：百万円 | 2025年3月期 | | 2026年3月期(予想) | | 増減 | 増減率 |
|-----------|----------|-------|--------------|-------|------|--------|
| ハンドナットランナ | 4,571 | 58.0% | 4,893 | 58.8% | +322 | +7.0% |
| ナットランナ | 1,389 | 17.6% | 1,293 | 15.5% | ▲96 | ▲6.9% |
| ネジ締付装置 | 1,301 | 16.5% | 1,446 | 17.3% | +145 | +11.1% |
| サーボプレス | 66 | 0.8% | 126 | 1.5% | +60 | +90.9% |
| 修理点検 | 553 | 7.0% | 562 | 6.7% | +9 | +1.6% |
| 合計 | 7,881 | 100% | 8,320 | 100% | +439 | +5.5% |

・ハンドナットランナ

国内後半増加
米国2Q以降増加傾向
中国EV自動車メーカー投資旺盛

・ナットランナ

前期より微減(ネジ締付装置での受注と相反)

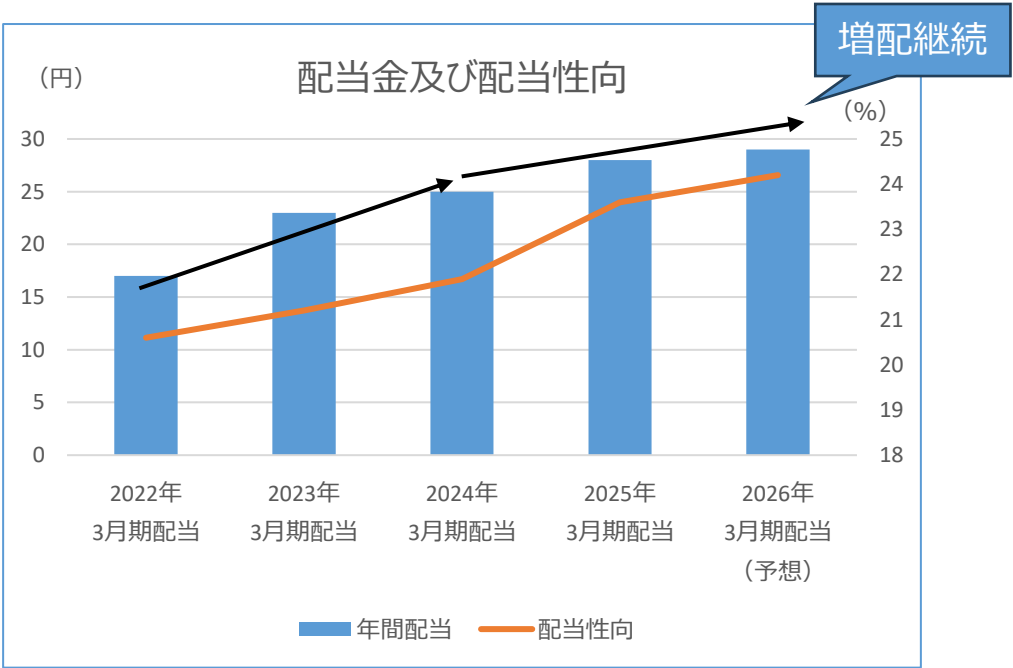
・ネジ締付装置

設計の標準化やユニット化の促進により生産
キャパアップ及び粗利拡大を目指します。

配当方針

財務体質の強化・充実を図り、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております

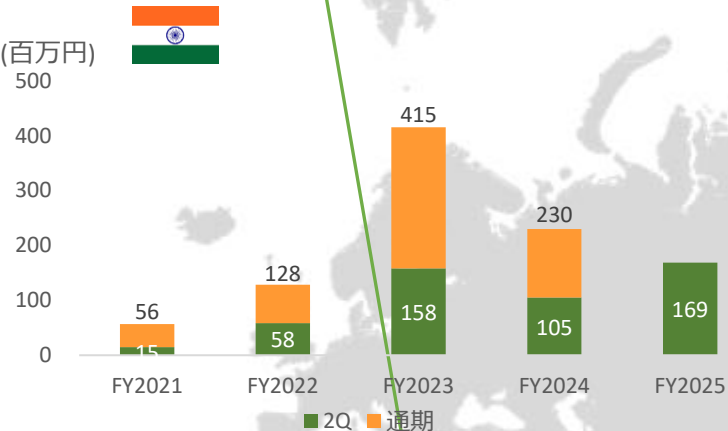
| | 2025年3月期 | 2026年3月期 (予想) |
|-------|----------|------------------|
| 年間配当金 | 28円 | 29円 |
| 配当利回り | 3.10% | - |
| 配当性向 | 23.6% | 24.2% |



業務改善による生産性向上及び関税影響の最小化により、安定配当を目指します。

インド

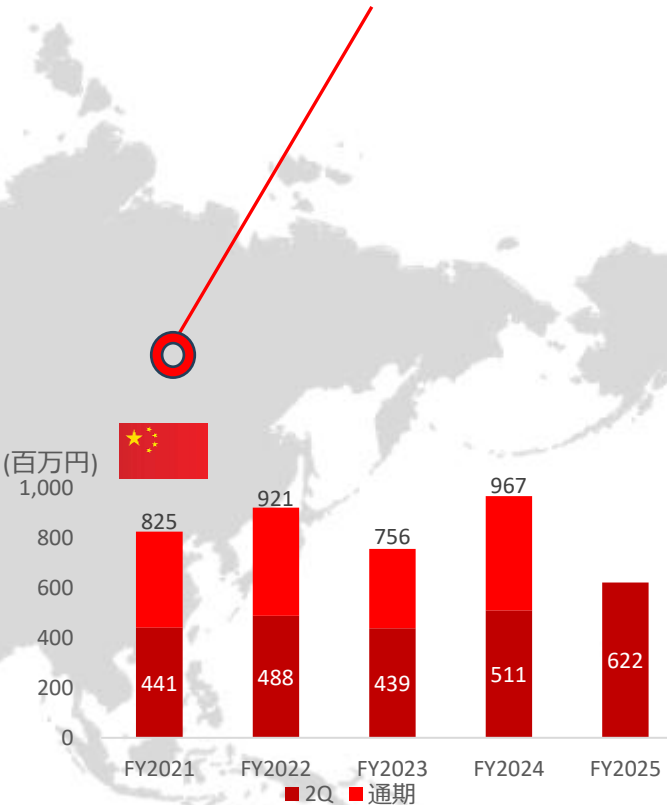
代理店を起点とした
販売強化の効果が堅調



CAGR 59.5%

中国

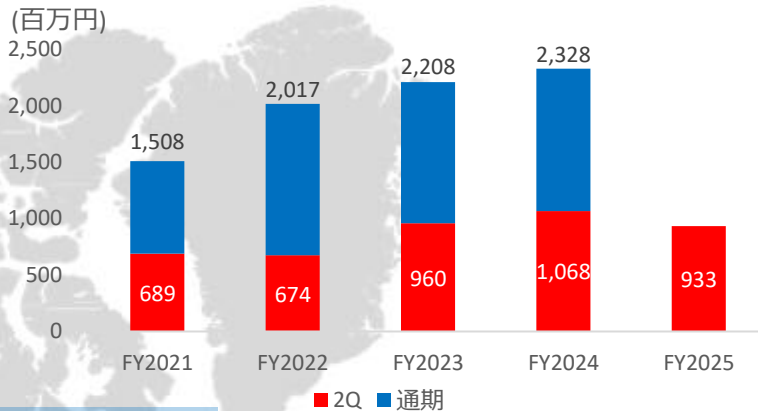
- ・駐在員増員により現地ローカルユーザーへ攻勢を強める
- ・ユーザーの多様化（バス・重工機等）による販路拡大



CAGR 5.4%

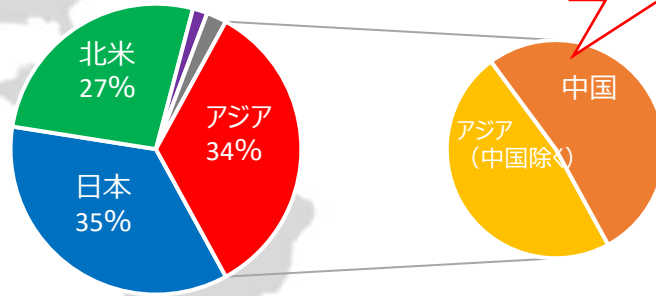
北米

- ・EV市場の成長鈍化により設備投資は軟調傾向
- ・大手EVメーカーの大口案件や新規分野の開拓進む



CAGR 15.5%

2025/2Q 売上実績（全世界地域別）



アジア全体の
5.2%が中国
(過半越え)

■ 日本 ■ 北米 ■ 中南米 ■ その他の地域 ■ アジア(中国以外) ■ 中国

※CAGR = 年平均成長率（直近4年分）

- * **ユーザー多様化**への取り組み
自動車以外の分野(建機・農機、電子機器、二輪、大型車両、航空)へユーザー層を拡充していく
- * **中国マーケット戦略強化**のため自社営業スタッフ常駐を増強し、より一層のユーザーホスピタリティ、現地系メーカーへの販路拡大に取り組む
- * **執行役員制度**を施行しガバナンス体制の強化・意思決定の迅速化を目指す
- * **REP2025**【Renovation Estic Project 2025】により全社的に業務の現状分析を図り、リノベーションを実施し、戦略的な業務運営ができる仕組みを構築する
- * **生産能力増強**し売上拡大に対応するため標準品工場を新築拡大移転着手

自動車産業 (完成車メーカー・部品メーカー)

***ポテンシャルは様々な業界
へ広がる**

- ・建設・設備
- ・農業機器
- ・大型車両 (バス/トラック)
- ・二輪
- ・エネルギー・重工業
- ・電子機器・家電
- ・半導体・精密機器
- ・航空・宇宙

◆開拓実績ユーザー◆

建機



二輪 (EV含)



大型車両



《重要テーマ》

大型車両

- ・工程自動化による省人化
- ・安全対策
- ・トレーサビリティ確保

二輪

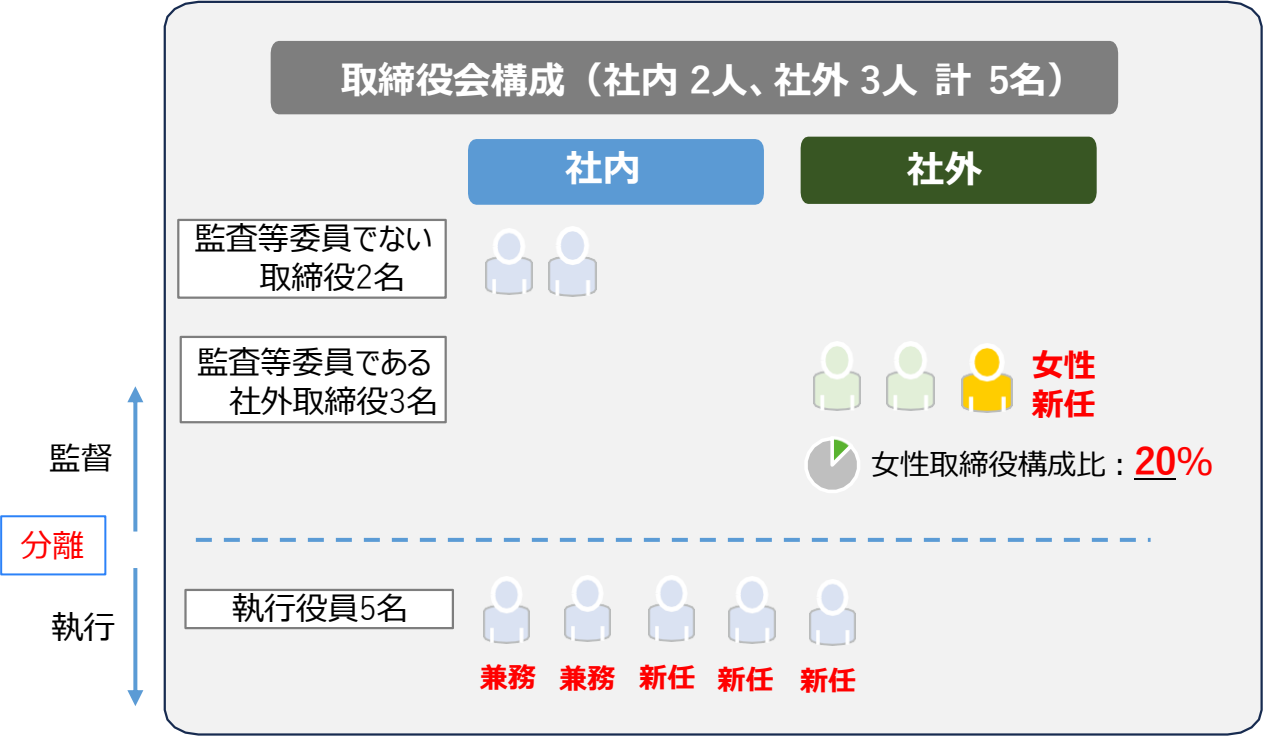
- ・サイクルタイム短縮
- ・品質管理
- ・トレーサビリティ確保

建機・農機

- ・電動化による
省人化、
トレーサビリティ確保

執行役員制度導入により監督と執行の明確化を図り、業務の機動性を高めることで、経営の意思決定スピードを速め取締役会ではより戦略的な議論とモニタリングに集中します。

新たに女性の社外取締役（弁護士）を選任し、取締役会の多様性向上と法律の専門性・バックグラウンドを活かしリスクマネジメントやコーポレートガバナンスの強化を図ります。



女性社外取締役の選任

- 1. 取締役会の多様性向上及びガバナンス強化
- 2. リスクマネジメントの強化（法律面での専門性向上）

執行役員制度導入

- 1. 監督と執行の明確化（意思決定の迅速化）
- 2. 次期経営人材の育成（取締役会議にも参加）

国内の標準品組立工場の移転へ向けて創業以来、過去最大となる設備投資へ着手。
投資総額 約18億円(予定)。延床面積 約4,000平米。4階建ての新工場が2026年11月に竣工予定。



現場強化

生産能力増強

長期ビジョンを達成するため
生産能力増強



生産拠点の最適化

粗利益を生み出す

目標とする利益を生み出せる
ものづくり現場への深化



従業員エンゲージメント

働きがいの向上

ものづくりを支える従業員への
人的資本投資を強化

長期ビジョン達成に向けた攻めの投資により世界で戦える基盤を早期に構築。

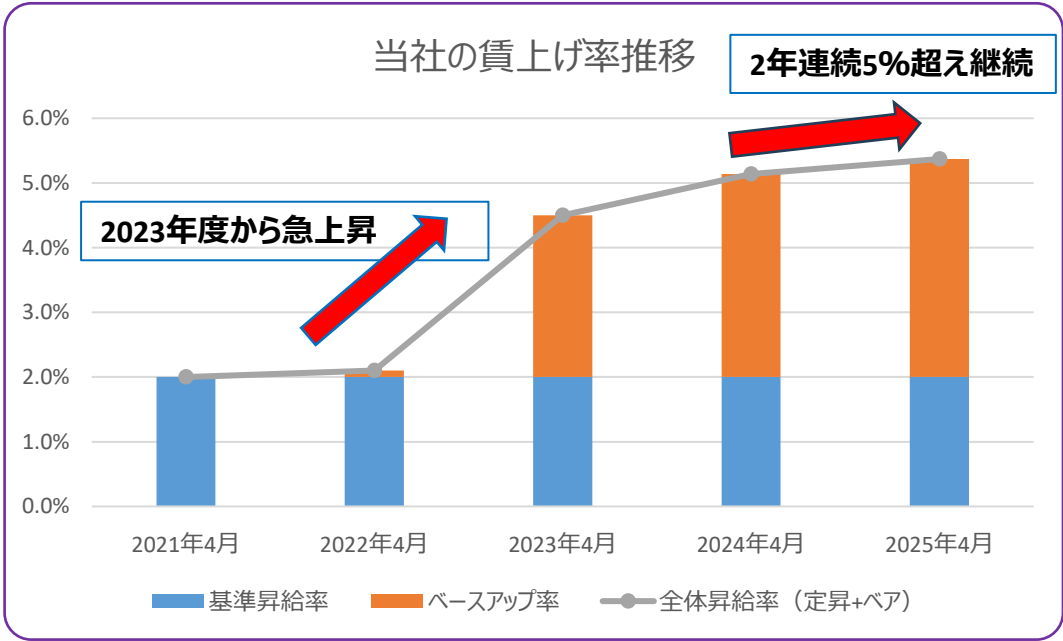
ESTIC社内の業務プロセスや情報システムなどの
抜本的な見直し、再設計、再構築

Reengineering **ESTIC** Processes

業務改善 **REP2025** プロジェクト始動
(全8ヶ月間におよぶ全社横断プロジェクト)

背景

- ✓ 原材料費と仕入れ価格の継続的な高騰
- ✓ エネルギーコストの上昇（電気・ガス・ガソリン代等）
- ✓ **賃上げによる人件費の増加**



抜本的な業務の見直しにより生産性向上を図り
構造的なコスト高を吸収して目標利益を確保します。



| 中期経営計画 | | | |
|--------|---|----------|----------|
| 数値目標 | | 2025年3月期 | 2026年3月期 |
| | | 2027年3月期 | |
| | 売上高 | 78億円 | 85億円 |
| | 営業利益 | 16億円 | 18億円 |
| | 営業利益率 | 20.6% | 21% |
| | ROE | 13%以上を目標 | 14%以上を目標 |
| | 配当性向 | 23%以上を目標 | 25%以上を目標 |
| 重点戦略 | <div><div>Europe</div><div>North America</div><div>South America</div><div>「販売基盤強化」 ◇海外市場拡大 ・海外大手ユーザー認証取得促進 ・ユーザー多様化推進 （非自動車、納期、建機、EPDM等） ・技術・サービスサポート機能強化 （欧州・中国・インド・タイ） ・新たな拠点開設準備 ◇国内市場深耕 ・新規重点攻略ユーザー育成</div><div>「製品・生産基盤強化」 ◇製品開発 ・次世代モデル開発 ・市場環境変化への対応 （省人化、EV化へ対応した製品企画） ・システム装置の新企画製品開発 ・各種海外規格認証対応拡充 ◇生産 ・新工場建設 ・DX推進による生産性向上&キャパUP</div><div>「経営基盤強化」 ◇執行役員制度導入 ◇IT、DX推進による生産性向上 ◇収益力の強化 ・営業利益20%以上 ・ROE14%以上を目指す ◇人的資本への投資</div></div> | | |
| | <div><div>2025年3月</div><div>2026年3月</div><div>2027年3月</div><div>合計289名</div><div>合計292名</div><div>合計295名</div><div>国内スタッフ数</div><div>海外スタッフ数</div></div> | | |

| 達成状況 | | | |
|------|---------------------|---------------------|----------------------|
| 数値目標 | 項目 | 2026年3月期計画 | FY2025.2Q時点進捗状況 |
| | 売上高 | 8,500百万円 | 実績 3,504百万円 進捗率41.2% |
| | 営業利益 | 1,800百万円 | 実績 579百万円 進捗率32.2% |
| | 営業利益率 | 21% | 実績16.5% 乖離△4.5% |
| | ROE | 13%以上 | — |
| | 配当性向 | 24%以上 | — |
| 重点戦略 | 通期での達成見込 | | 現予想で達成率97.9% |
| | 現予想で達成率94.3% | | |
| | 現予想で達成率20.4% | | |
| | 現予想で12%前後 | | |
| | 配当予想では24.2% | | |
| | 施策 | 実施状況 | |
| | 海外大手ユーザー認証取得 | VW独本社正式認証取得 | |
| | ユーザー多様化 | 農機建機メーカー拡大 | |
| | 技術・サービスサポート機能強化（海外） | メキシコ、インドネシア | |
| | 新たな拠点開設準備 | 計画中 | |
| | 国内新規重点攻略ユーザー育成 | | |
| | 次世代モデル開発 | 開発中 | |
| | 市場環境変化への対応 | EV攻略、業界多様化戦略 | |
| | システム装置の新企画製品開発 | パーツフィーダー | |
| | 各種海外企画認証対応充実 | NRTL認証取得（北米） | |
| | 新工場建設 | 標準品工場新設2026年11月完成予定 | |
| | DX連携による生産性向上&キャパUP | 基幹システム更新（REP2025） | |
| | 執行役員制度導入 | 2025年4月から導入 | |



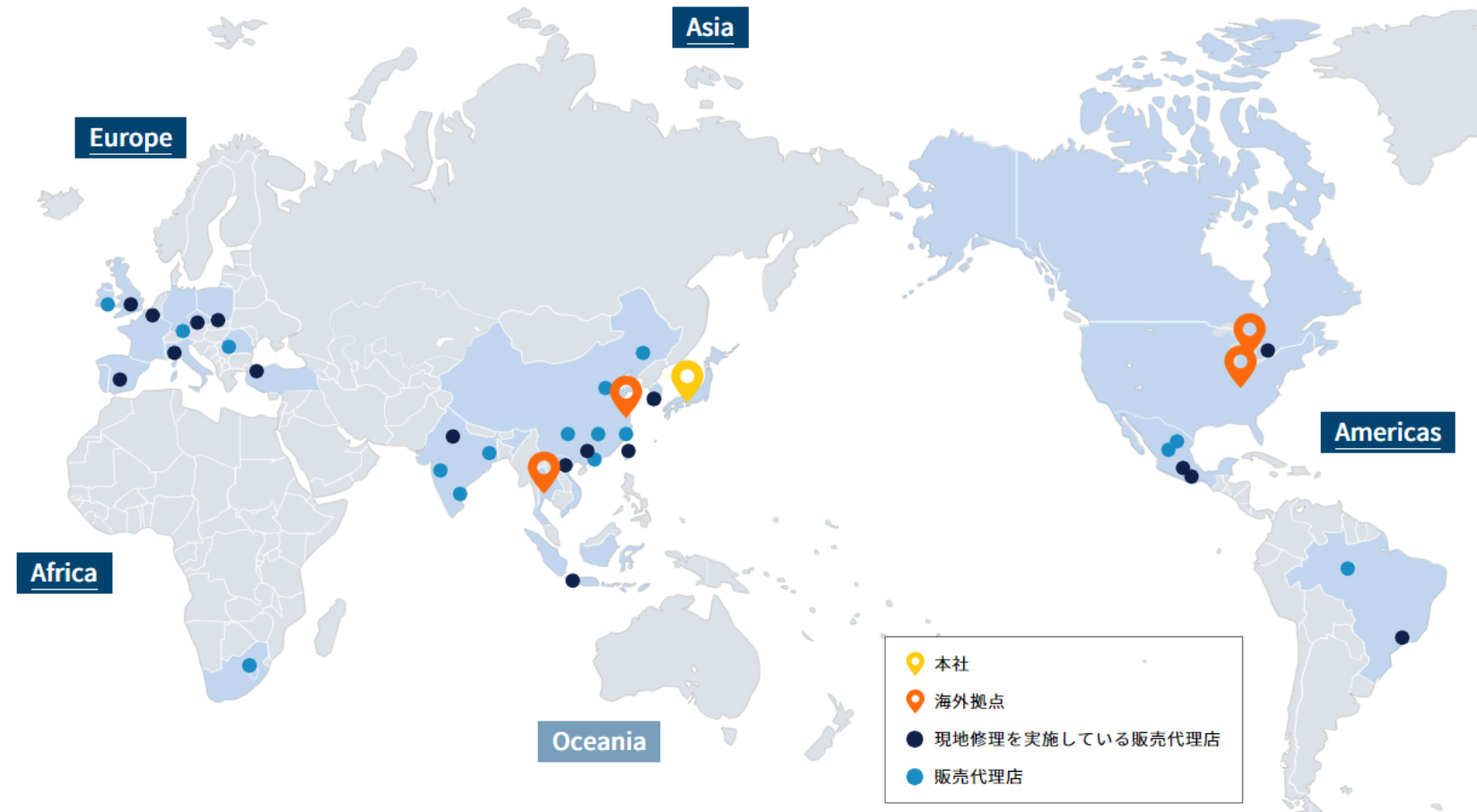
会社概要

| | | |
|-------|-------------------------------|--------|
| 社名 | 株式会社エスティック(ESTIC CORPORATION) | |
| 本社所在地 | 〒570-0041 大阪府守口市東郷通1丁目2番16号 | |
| 電話番号 | TEL 06-6993-8855(代表) | |
| 設立 | 1993年8月25日 | |
| 株式上場 | 東京証券取引所スタンダード市場(証券コード6161) | |
| 役員 | 代表取締役 社長執行役員 | 鈴木 弘英 |
| | 取締役 専務執行役員 | 伊勢嶋 勇 |
| | 取締役 監査等委員 | 山本 純治 |
| | 取締役 監査等委員 | 大松 信貴 |
| | 取締役 監査等委員 | 氏家 真紀子 |
| | 執行役員・営業本部長 | 牛島 一裕 |
| | 執行役員・技術本部長 | 土田 雄一 |
| | 執行役員・生産本部長 | 西木 利幸 |
| 決算日 | 3月20日 | |
| 会計監査人 | ひびき監査法人 | |

| | | | |
|------|--|-------------------------------|---|
| 事業所 | 大阪営業所 | 大阪府守口市東郷通1丁目2番16号 | |
| | 東京営業所 | 横浜市港北区新横浜3-20-12 新横浜望星ビル2階 | |
| | 中部営業所 | 愛知県岡崎市康生通南2-28本田ビル | |
| | 橋波事業所 | ハンド・ナットランナ等の 標準品生産工場 | 大阪府守口市橋波東之町2-5-9 |
| | 東郷事業所 | 自動組立装置／設備等の 生産工場 | 大阪府守口市東郷通1丁目2番16号 |
| | 技術開発センター(TDC) | ねじ締付技術・圧入技術の 研究開発拠点 | 大阪府守口市菊水通3丁目12番4号 |
| 関連会社 | ESTIC America, Inc. Head Office (Kentucky Office) | 北米中南米販売拠点 | Suite 120, 1895 Airport Exchange Blvd,Erlanger, KY 41018, U.S.A. |
| | Novi Technical Center (Michigan Office) | | 25901 Meadowbrook Rd., Novi, MI 48375 - U.S.A. |
| | ESTIC (Thailand) Co., Ltd. | タイ販売拠点 | 2 Soi Lasalle 29, Bangna Tai,Bangna, Bangkok 10260, Thailand |
| | Shanghai ESTIC Co., Ltd. | 中国市場生産及び販売拠点 | 1159Lane, Kanqiao EastRoad, Pudong, Shanghai 201315, China |

会社概要

海外ネットワーク



海外拠点

▽ ESTIC America, Inc. Head Office

▽ ESTIC America, Inc. Novi Technical Center

▽ Shanghai ESTIC Co., Ltd.

▽ ESTIC (Thailand) Co., Ltd.

当社製品紹介

ハンドナットランナ

ハンドナットランナは高い精度を要求される重要部品のねじ締付に最適な手持ち式電動工具です。締付に関する各種データを記録し、確実なトレーサビリティをご提供します。また、トルク管理だけではなく角度管理や時間管理もできるため、さまざまな締付不良の検知が可能です。

エスティックのハンドナットランナは、特許を取得した低反力のパルス締付と高精度のダイレクト締付に対応しています。



ハンドナットランナ

有線タイプのハンドナットランナ。1N・mから600 N・mまで多数のツールをラインナップ。幅広いトルク帯に共通のコントローラで対応できます。



コードレスナットランナ

無線で通信するコードレスタイプ。ケーブルが無いため作業者の機動性が高く、入り組んだ場所での締付作業に最適です。



スカラロボット

SCARAロボット（水平多関節ロボット）は、水平方向にアームが動作する産業ロボットです。高速で水平方向に移動するのが特徴で、先端部は上下に動きます。エスティックでは、SCARAロボットとハンドナットランナを組み合わせたねじ締めロボットを提案しています。

当社製品紹介

ナットランナ

設備用の電動ナットランナ。機械に組み込んで使用します。高精度にこだわるエスティック製品のなかでも、最高の締付精度を誇ります。エラー検知やトルク管理等の機能が正常に動作しているか、動作前に常に自己診断を行います。

ツールユニット

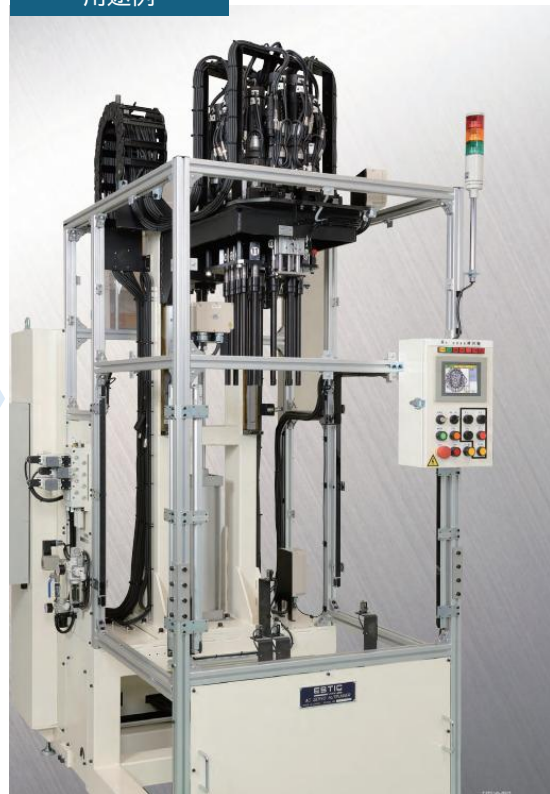


コントロールユニット



客先オーダーメイド
のネジ締付装置に組
み込んで使用

用途例



信頼の高性能サーボナットランナシステム

最高水準の精度、動作応答性、極めて高い耐久性
トレーサビリティを必要とするあらゆるネジ締結ニーズに対応



当社製品紹介

ネジ締付装置（自動組立装置／設備）

ネジ締付装置（自動組立機や自動機と呼ばれることもあります）は、製品を自動で組立して製造する機械のことです。手作業で行っていた締付や圧入の工程を自動化することで、省人化を実現します。エスティックではお客様の製品やニーズに合わせたオーダーメイドの自動組立装置をご提案しています。

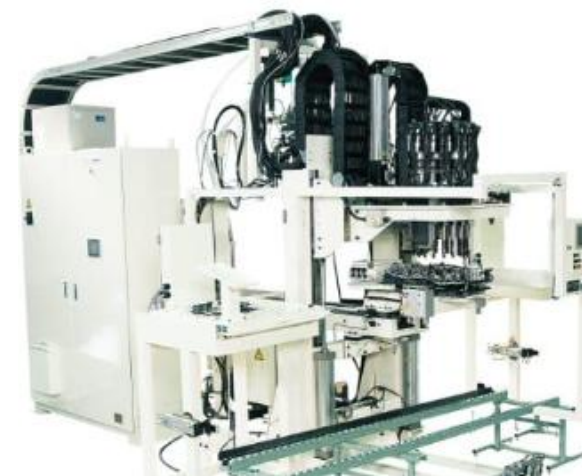
エンジン系装置



ボディ系装置



ミッション系装置



当社製品紹介

サーボプレス

サーボプレスは電動ナットランナの開発で培ったサーボモータの制御技術を活かして開発されました。加圧に関するさまざまなデータを収集できるため、トレーサビリティは万全です。荷重だけでなく、時間や位置データで判定を行うため、圧入不良を検知します。

電動駆動のため、油圧や空圧と比べて、クリーンで省エネルギーの圧入を可能にします。



【本資料における注意事項等】

本資料には株式会社エスティックの業績、計画、戦略などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれております。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社 I R に関するお問い合わせ先】

株式会社エスティック 管理部 IR担当

TEL 06-6993-8080

URL <https://www.estic.co.jp>